

## 市長の窓

しげ のぶ  
滋宣の



イラスト  
小熊真二さん

ほうちゅう かん

あんちゅう めい

## “忙中閑あり暗中明あり”

その 49

### ～ 渡り鳥 ～

渡り鳥の季節となりました。

渡り鳥は春に南方から日本に飛来して繁殖し、南に帰って越冬する「夏鳥」、秋に北方から飛来して越冬し、春に北方に帰って繁殖する「冬鳥」、北の繁殖地と南の越冬地を往復する時に立ち寄る「旅鳥」がいます。

和歌や俳句に詠まれるのは「冬鳥」です。また、秋になって国内の山地から平野に移動する、鶺鴒や鶺鴒、鶺鴒などの「標鳥」のことも含めて「渡り鳥」として詠まれます。

渡り鳥がV字飛行するのはなぜでしょうか？それは、V字で飛ぶと前の鳥が羽ばたくことにより上昇気流を生み出し、後ろの鳥は楽に飛ぶことができるようになるので、1羽で飛ぶよりも7割も遠くまで飛ぶことができるのだそうです。

また、群れの1羽が病気やけがで脱落すると、2羽の鳥が付き添って地上に降り、回復するか死ぬまで付き添い、その後は新しい編隊に加わるか、独自の編隊を作って目的地に向かうのだそうです。

渡り鳥 夕日に翳を わきばさみ  
(山口誓子)

能代市長 齊藤 滋宣



10月16日、消防美術・防火ポスターコンクールの審査を行いました。